



# 若草句会

# 塩川 雄三先生 選

九月 兼題 夜長「 台風」 灯火親し「 聴」

## 選者句

長き夜を讀書にふけて悔のなし



## 入選句

台風の来ぬ間の早き昼仕度 野口 喜代活

看護師のわづかな仮眠秋ともし 東間 キミヨ

台風の逸れて被線くつきりと 住田 豊子

順番を待つ本あまた長き夜 関 純子

みちのくを又も襲ふや台風禍 三浦 まゆみ

雨後の空風の変化や鴉の声 平井 朝子

古都走る女の車夫に萩の風 西村 公子

クラス会終へて独りの夜長かな 中野 洋子

くさむらに草の色して鴉の聲 小田 良子

## 俳句



### ♥文章表現を楽しむ科

ためらい一付けた香水馴染めずに	米山 和子
夕立や温泉街は下駄の音	大坪 茂
朝刊を取りに出るなり蝉しぐれ	林 正造
新緑や川面を分か一舟の跡	谷 たか子

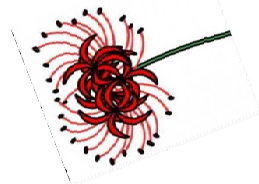
## 川柳

エッセー文学科 野中 利博 二句

孫だいて余計な役割背負わされ  
一歳になつた孫見て五歳老ゆ

高1健福 松上 初美 二句

報連相幾つになつても忘れずに  
メールありたまに聞きだし生の声



## 短歌

N高1美術 井上 恵子 二首

知らぬ間に痕跡残し去りし蚊に  
雅意ではおれぬ痒きところよ

秋の穂が君に寄り添い顔たれ  
足下に咲きし曼珠沙華

